

一緒に何かしたりする中で、子どもとの関わりを深めてください。もう一つ父親の役割として強調したいのは「妻へのサポート」です。家族とコミュニケーション

「父性」「母性」より「親性」

ひとり親家庭では、子どもに与える父性や母性が欠けるのではないかと懸念する親は数多くいらっしゃいます。しかし子育てにおいて何よりも大事なものは、子どもに愛情を持って育てることです。

例えばシングルファザーの場合、夫婦そろっている家庭の父親よりも子どもに関わる時間が長くなるというデータがあります。また子どもに関わるうちに、子どもを引き付ける高い声が出るようになり、養育行動を促すホルモン(オキシトシン)も増えるようになるとも言われています。

子どもを愛おしく思う気持ち=「親性」があれば、ひとり親家庭で何も問題は

ありません。積極的な会話したり、一緒に何かしたりする中で、子どもとの関わりを深めてください。もう一つ父親の役割として強調したいのは「妻へのサポート」です。家族とコミュニケーション

ンを取ることで、家事・育児に関わることで母親のストレスは軽減できます。母親のストレスが低いほど、子どもの集団活動への適応力や自分のやりたいことを状況に応じて我慢する自己統制力など、社会性の発達が良好になることが、調査からも明らかになっています。

仕事と家庭を両立するのは大変なことです。夫婦がよく話し合い、双方が納得する役割分担を決めることも大切です。今は働き方が見直されて、父親の時短勤務や育児休暇を認めている企業が少しずつ増えてきていることも追い風と言えるのではないのでしょうか。

(談)

家庭での親のしつけ (対象：小学校5年生～中学2年生)

